

PV パネルリサイクル処理におけるセルシート切断装置の開発

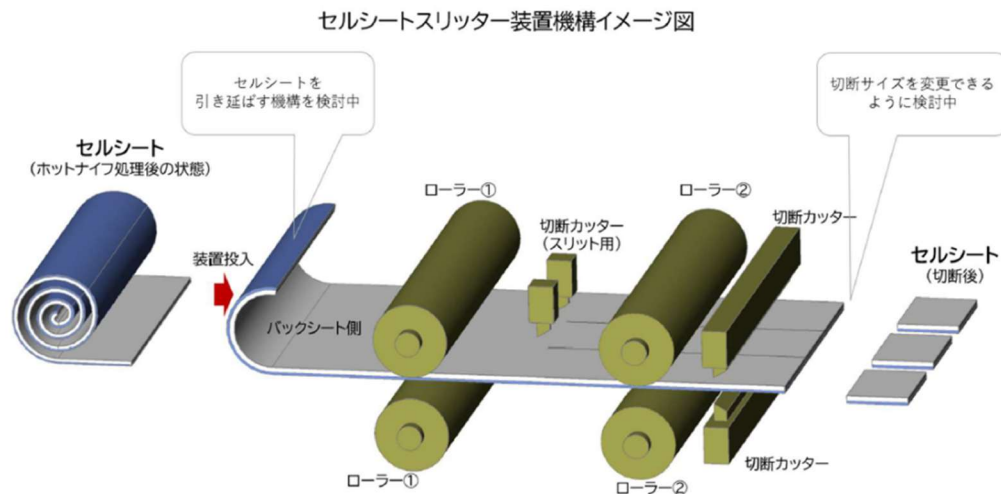
株式会社浜田

➤ 背景

太陽光パネルは2012年にスタートした固定価格買取制度（FIT）導入を境に飛躍的に導入量が伸びている。急激に設置された太陽光パネルは20年程で寿命を迎える為、2036年頃から年間で約28万トンが廃棄されると予測されている。一方で太陽光パネルの処理方法は埋め立て処理がほとんどとされ、環境省は平成28年に「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」を作成し、我が国全体として使用済み太陽光パネルの再資源化を推し進めている。

➤ 目的

当社はこのような背景から2017年いち早く太陽光パネルリユース・リサイクル事業を展開し、太陽光パネルを分離装置など用いて、各部材ごとに分けて資源化している。このような取り組みは環境保護と資源の有効活用に貢献し、持続可能な社会の実現に不可欠だと考える。各部材の中でアルミフレーム、ジャンクションBOX、パネルガラス、セルシートなどあるが、今回、セルシートに着目して、更に効率的に処理できるようセルシートスリッター装置の開発を進める。



➤ 実施内容

- ・セルシートスリッターの刃の形状、切断方法、装置機構の検証
- ・セルシートスリッター装置の仕様設計・開発
- ・装置完成後のスリッター状態の評価、見直し

以上